

▶ 10日 水曜

マルコ

4:21 イエスはまた彼らに言われた。「明かりを持って来るのは、升の下や寝台の下に置くためでしょうか。燭台の上に置くためではありませんか。

4:22 隠れているもので、あらわにされないものではなく、秘められたもので、明らかにされないものはありません。

4:23 聞く耳があるなら、聞きなさい。」

4:24 また彼らに言われた。「聞いていることに注意しなさい。あなたがたは、自分が量るその秤で自分にも量り与えられ、その上に増し加えられます。

4:25 持っている人はさらに与えられ、持っていない人は、持っているものまで取り上げられてしまうからです。」

4:26 またイエスは言われた。「神の国はこのようなものです。人が地に種を蒔くと、

4:27 夜屋、寝たり起きたりしているうちに種は芽を出して育ちますが、どのようにしてそうなるのか、その人は知りません。

4:28 地はひとりでに実をならせ、初めに苗、次に穂、次に多くの実が穂にできます。

4:29 実が熟すと、すぐに鎌を入れます。収穫の時が来たからです。」

私たちは世の人々にとっての「明かり」であり、光です。神様の希望の光を明らかにし生きましょう。イエス様を恥とする者は、神に恥とされます。主を伝える者には祝福があります。

人を自分の基準で評価したり、批判したりするクリスチヤンもいますが、同じように神様から評価・批判されていることを知る必要があります。むしろ感謝し、良いところに目を留めましょう。主は私の量り（基準）で私を量られるのですから、もしもそ



Bible Reference
聖書の記述

れが寛大なものであったなら、主は私に寛大にしてくださるのです。

「神の国」とは天国のことだけではありません。ことばの本来的な意味は、神の支配ということです。その永遠のものが天国ですが、ここで語られることは、神が支配なさる領域ではどのようになるかということです。人の救いも、神のみわざも、世の中の動きも、すべて神のみこころが起るときには、人の作為的な手によらないものです。ただし主は私たちをも参加させてくださるために、使命を教えてくださいます。種蒔きがその一つです。主の愛を動機として主のみわざを期待する種を蒔きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

